

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和4年度第2回高松市スポーツ推進審議会
開催日時	令和5年3月3日(金) 18時30分～19時30分
開催場所	高松市役所防災合同庁舎3階 302会議室
議 題	高松市スポーツ推進計画の進捗状況について 次期高松市スポーツ推進計画の策定について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	今井委員、大西委員、岡委員、岡部委員、笹崎委員、西山委員、藤尾委員、元木委員、山根委員、米村委員 (欠席1名)
傍聴者	0人 (定員 5人)
担当課及び 連絡先	スポーツ振興課 839-2626

会議経過及び会議結果

【会議の経過】

- 1 大西会長挨拶
- 2 事務局から、会議成立の報告後、会議の公開について委員会に諮り、審議した結果、公開とすることを決定した。
- 4 議題
事務局から、「高松市スポーツ推進計画の進捗状況」及び「次期高松市スポーツ推進計画の策定」について、説明した。
- 5 主な意見、質疑等については次のとおり
○高松市スポーツ推進計画の進捗状況について

【議長】

高松市スポーツ推進計画の進捗状況について、新型コロナの影響から、実績数値が全て目標どおりではないということは、御承知のとおりと思う。その中で、御質問等はないか。

【A委員】

「支えあおう！みんなのスポーツ」のスポーツ指導者の充実活用で令和3年度と令和4年度の回数が減少している。どういうところに外部講師を派遣しているのか。

【事務局】

令和4年度の実績として減少しているところではあるが、派遣内容としては、陸上や走り方教室、スポーツチャンバラ、器械体操など様々である。派遣先としては、幼稚園、こども園や小学校・高校等である。

【A委員】

派遣先から回数を増やしたいということ相談されたことがある。幼児期に体を動かす楽しさを知ってもらうことで、子どもたちの競技人口増加につながると思う。制度の周知を市の方からもお願いしたい。

会議経過及び会議結果

【B委員】

障がいスポーツのイベント件数が令和3年度と比較して増加している。同じイベントを繰り返し実施しているのか、新たな取組を実施しているのか、教えていただきたい。

【事務局】

令和4年11月末に実施した車いすのラグビー合宿や体験教室が新しい取組の一つである。また、ボッチャ等、パラリンピックで興味を持った方もおられるので、体験会などを通じてパラスポーツの振興に努めてきた。こういった体験会の回数を増やすなど、同種のイベントを継続してきたことも、件数増加に繋がっている。

【B委員】

件数増加は、イベントに関わる人の増加でもあると思う。引き続き、イベントの周知など行っていく必要があると思う。

○次期高松市スポーツ推進計画の策定について

【議長】

前回の審議会において、委員の皆様から沢山の御意見を頂き、修正、訂正を行っている。御質問等があれば、お願いしたい。

【C委員】

前回の意見を踏まえ、修正内容について、理解した。今後は、アンケート結果を基に、次期計画の数値目標をきちんと反映することを考える。

【D委員】

インターネットでの回答も可能になったことで、利便性が上がり、若年層にとっては、紙ベースより簡単に回答できると思う。回答率も上がるのではないかと。もし、紙ベースとインターネットを、2重に回答してしまった場合の対応如何。

【事務局】

回答者番号により、重複の確認を行いたい。また、重複があった場合には、インターネットでの回答を正本とする取扱いを検討している。

【E委員】

アンケートは、上手くできたので良かったと思う。あとは、結果を待ちたい。

【F委員】

先般、スポーツ推進委員の御協力のもとに開催されたパラスポーツ体験会に立ち会い、様々な方々が集まり、多くの参加者が楽しむ光景が見受けられた。前回の審議会でも、話題に上がったとおり、低調な自治会加入率の現状では、幅広く参加者を募ることができない。学校から周知してもらおう等、地域住民に積極的に働きかけ、行事に参加して頂き、自治会加入のきっかけ作りに加えて、運動の習慣にも繋げることができるよう取り組みたいと考えている。また、学校及びその周辺に、障がい者が使用できるトイレなどの設備も少ないので、時間はかかると思うが、整備を進める必要があると考えている。

【G委員】

アンケートに関しては、インターネット回答による利便性向上は、回答率の向上や早期の回答に繋がると考える。もう1点、第3期スポーツ基本計画の中で、国際交流という分野の検討が進んでおらず、高松市在住の外国の方々をどうターゲットとしていくのか、今回の審議事項から逸れるが、この先、考えておく必要がある。

【E委員】

パラスポーツに関連して、5年ほど前にパラスポーツ体験を企画し、運営を行った。多くの子どもたちがパラスポーツを体験でき、審

会議経過及び会議結果

議会でも話題に上がるなど、当時パラスポーツ体験に携わった立場としては、市民に浸透する様子が伺え、嬉しく思う。

【議長】

今、E委員の発言に関連し、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、本市においても、高松市パラスポーツ協会を立ち上げ、パラスポーツ振興の取組を継承していく。

【F委員】

先程、G委員が仰った高松市在住の外国人について、長年、高松在住の方であっても地域に馴染めず、地元住民との距離が縮まっていないように感じる。こういった方々をスポーツイベント等地域行事に参加してもらうためには、雇用や実習生を受け入れる企業及びその経営者、地元住民、市が理解を深める必要があり、市においてもこれらを巻き込んで、情報発信するなどをしない限り、改善しないのではないか。

【議長】

他になれば、次年度スケジュールを確認したい。まず、アンケートに関しては、4月を目途に実施する。その後、来年度は3回、審議会を予定しており、アンケートの結果報告等を踏まえ、次期推進計画の策定を進めていく。この日程を基本にするということをお願いしたい。本日出席の委員の皆様には、次年度が推進計画最終年度ということで、スポーツ実施率70%に近づけるよう御支援をお願いしたい。

6 大西会長（議長）閉会宣言

全ての議事が終了したことを確認し、大西会長（議長）が閉会を宣言し、閉会した。